



R3. 6. 1発行

## 伝えたい思い

GW があり家庭での生活リズムから「園生活のリズムに慣れていくために、生活の流れを日々同じように繰り返すようにし、保育者と一緒に歌う、踊る、触れ合う、散歩に行くなどをして過ごすようにしてきました。保育者や環境にもずいぶん慣れて、落ち着いて過ごせるようになってきています。散歩に出かけ花や虫、車などを見つけると「あ、あ」や「あった」などと声や指差しをして教えたり、あそびの中でやって欲しいことやできないことがあると保育者のところに来て「あー」「ん、ん」などと訴えてくる姿が増えてきています。そのような時は気持ちをくみ取ってすぐにやってしまうのではなく、どうして欲しいのかを「〇〇して欲しいの」と問いかけ「やってだよ」と言葉と身振りの両方で伝え、子どもの思いを確認してから行動に移すようにしています。「言葉と物」「言葉と行動」を一致させるようにして関わりを持つことが大切です。

指差しは、まだ言葉をうまく話せない赤ちゃんにとって大切なコミュニケーションであり、伝えたいことを大人がくみ取り、声かけや共感することで達成感を味わい、よりコミュニケーションを取ることに積極的になるそうです。このコミュニケーションへの意欲を伸ばすことが、その先の言葉の発達へとつながることです。今後も丁寧に言葉を掛けていくようにしてやり取りを楽しみながら、子どもたちと関わっていきたいと思います。



### 《今月のわらい》

- ・保育者と一緒に全身を使って遊ぶ。
- ・梅雨の時期を健康に過ごせるようにする。

### 《活動内容》

- ・散歩（本町公園、そよ風公園、本園線路沿い）
- ・巧技台遊び
- ・指先遊び（シール貼り、粘土）
- ・製作（指スタンプ）



### お願い

持ち物のすべてに名前の記入をお願いします。タグなど、できるだけわかりやすい場所を書いていただけると助かります。また、消えかかっているものもありますので、書き直しもお願いします。

